

Title	Guide for authors
Sub Title	
Author	
Publisher	慶應義塾大学湘南藤沢学会
Publication year	2017
Jtitle	Keio SFC journal Vol.17, No.1 (2017.) ,p.326- 331
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	特集 DesignX * XDesign : 未知の分野における新たなデザインの理論・ 方法の提案とその実践
Genre	
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=0402-1701-0326

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

Guide for Authors

■慶應義塾大学湘南藤沢学会について

慶應義塾大学湘南藤沢学会は、慶應義塾大学湘南藤沢キャンパス（以下、SFC）の総合政策学部、環境情報学部、看護医療学部、大学院政策・メディア研究科、大学院健康マネジメント研究科の研究・教育活動を促進し、学外との交流を深めることを目的とした組織です。

当学会は、研究・教育活動の成果を発表する各種出版物の刊行のほか、シンポジウムや研究発表大会の開催等の活動を通じ、SFCの研究・教育活動の支援をしています。

また、SFCにおける学術研究の成果を発表する学術論文誌『KEIO SFC JOURNAL』の発行のほかに、SFCのキャンパス紹介をはじめ、教員・学生の最新の活動内容を掲載し、SFCキャンパスの広報の役割を担っている『KEIO SFC REVIEW』を発行しています。

さらに、会員が企画・主催する「研究助成基金」などの支援を行い、会員の研究発表や研究ネットワークの場を確保し、それらの支援を積極的に行っています。ほかにはSFCにおける様々な活動を後世に伝えるためのアーカイブ作成などの活動も行っています。

■会員の構成

本会の会員は原則として3学部・2研究科の正会員・準会員・学生会員により構成されています。（以下、慶應義塾大学湘南藤沢学会会則一部抜粋）

- 第3条 本会には正会員、準会員、学生会員、名誉会員を置く。
- 2 本会の正会員は原則として湘南藤沢3学部および2研究科の専任教員とするが、専任に準ずる有期ならびに非常勤の教員は湘南藤沢学会幹事会の審議を経て正会員とすることも可能である。
 - 3 本会の準会員は原則として湘南藤沢キャンパスを卒業あるいは修了した者および退職した教員で、その後本人の希望により資格申請を行い、その資格を得たものとする。また、湘南藤沢キャンパスコミュニティで活動しているSFC研究所上席所員、SFC研究所所員ならびにSFCに勤務する職員も本人の希望により資格申請を行い、湘南藤沢学会幹事会の審議を経て準会員とすることも可能である。
 - 4 本会の学生会員は湘南藤沢キャンパスに在籍する学部生ならびに研究科の学生とする。研究科の特別学生は、学生に準じた会員とすることができる。
 - 5 本会の名誉会員は原則として湘南藤沢キャンパスを定年退職した教員で、湘南藤沢学会の幹事会の推挙、審議を経て名誉会員とすることができる。

■ 投稿規程 2017 年 10 月 15 日現在*

2004 年 3 月 31 日制定／2004 年 8 月 17 日改定／2005 年 10 月 5 日改定／2007 年 4 月 1 日改定／
2011 年 12 月 7 日改定／2012 年 11 月 13 日改定／2017 年 7 月 31 日改定

投稿資格

- ・ 湘南藤沢学会正会員 (政策・メディア研究科・総合政策学部・環境情報学部の教授・准教授・専任講師、看護医療学部・健康マネジメント研究科の教授・准教授・専任講師・助教 (有期) など学会費を納めている者)
- ・ SFC 全学部生、政策・メディア研究科、健康マネジメント研究科在籍者
- ・ その他学会費を納めた者または編集委員会が執筆を依頼した者

内容

毎号特集テーマがありますが、SFC に特色ある研究に関する自由論題論文も募集します。

- ・ 研究論文は、実証的または理論的研究の成果として、オリジナリティを有するものとする。
- ・ 実践報告は、学術上の意義が大きい実践的な活動、あるいは新しい試み (実践) についての報告で、他の同様の活動の参考になる価値の高いものである。単なる実践の記述ではなく、評価・検証を行った報告論文であることを要件とする。
- ・ 研究ノートは、研究の中間報告または予察的な研究報告などとする。
- ・ 書評論文は、いくつかの文献に基づいて過去の経緯、文献間の比較、評価などを総合的に論じ、著者のオリジナルな考えや見方を提示する。
- ・ 書評は、文献の批判や紹介について、学会動向は、研究展望について解説したものとする。

枚数

原稿は、A4 判 (一段組) で作成し、文字数および行数は 34 文字×30 行 (1 頁 1,020 文字) で設定してください。原則として、研究論文の場合は 20,000 字以内 (20 ページ以内)、実践報告の場合は 20,000 字以内 (20 ページ以内)、研究ノートの場合は 12,000 字以内 (12 ページ以内)、書評論文は 9,000 字以内 (9 ページ以内)、書評・学会動向の場合は、5,500 字以内 (6 ページ以内) を基準とします。

提出方法

電子的な原稿とそのハードコピー、記載事項記入用紙を事務局へご提出ください (詳細は執筆要領をご参照ください)。

投稿原稿審査・掲載可否

提出された研究論文、実践報告、研究ノート、書評論文、書評・学会動向は、SFC 内部・外部の査読者による査読を行い、掲載の採否を決定いたします。

問い合わせ先・投稿申込・原稿提出受付窓口

慶應義塾大学湘南藤沢学会事務局
〒252-0816 神奈川県藤沢市遠藤 5322
慶應義塾大学湘南藤沢キャンパス
Tel: 0466-49-3437 (直通) / Fax: 0466-49-3603
E-Mail: gakkai@sfc.keio.ac.jp / URL <http://gakkai.sfc.keio.ac.jp/>

■刊行規程

2012 年 9 月 12 日制定／2014 年 5 月 7 日改定／2017 年 7 月 31 日改定

目的及び名称

第 1 条 慶應義塾大学湘南藤沢学会（以下、学会という）は、SFC における学術研究の成果を発表する学術論文誌「KEIO SFC JOURNAL」を刊行する。

編集委員会

- 第 2 条 「KEIO SFC JOURNAL」の編集は、KEIO SFC JOURNAL 編集委員会（以下、編集委員会という）が行う。
- 2 編集委員会は、15 名以内の学会会員および若干名の外部委員からなる編集委員をもって構成し、1 名の編集長、若干名の副編集長を置く。編集委員は編集委員会で選定し編集長が任命する。
 - 3 編集委員の任期は原則 2 年とし、重任を妨げない。
 - 4 就任期間は原則として年度毎（4 月～3 月）とするが、任期終了時に担当している査読論文がある場合は、その最終判定が出るまで担当する。
 - 5 編集委員以外の特集担当者は、該当号に関して臨時の編集委員となる。

編集方針

- 第 3 条 KEIO SFC JOURNAL は、原則として年 2 回刊行する。
- 2 刊行期日は、各年度第 1 号を 9 月末日とし、第 2 号を 3 月末日とする。
 - 3 「KEIO SFC JOURNAL」に掲載する原稿は以下の 6 つのカテゴリーからなるものとする。
 - 招待論文
 - 研究論文
 - 実践報告
 - 研究ノート
 - 書評論文
 - 書評・学会動向
 - 4 招待論文は、特集テーマに沿った内容の論文であり、編集委員会からの依頼原稿とする。招待論文は、特集担当編集委員が閲読し、査読の対象にはならない。また、執筆要領における研究論文と同様な執筆形式とする。
 - 5 研究論文、実践報告、研究ノート、書評論文、書評・学会動向は、第 4 条に規定する執筆要領及び投稿規程に従って原稿を作成し投稿するものとする。ただし、「KEIO SFC JOURNAL」への投稿有資格者は、学会会員、その他学会費を納めた者または編集委員会が執筆を依頼した者とする。
 - 6 投稿された原稿を上記第 3 項のどのカテゴリーとして扱うかは、投稿者の申請等をもとに編集委員会が投稿規程に従って決定し、査読要領に従って査読した結果に基づいて編集委員会が採否を決定する。

- 7 編集委員が投稿原稿の執筆者に含まれる場合には、当該委員はその投稿に係わる編集委員会の審議に参加しないものとする。

投稿規程及び執筆要領の公表

第4条 編集委員会は、上記の編集方針に基づき投稿規程及び執筆要領を作成し、湘南藤沢学会幹事会の承認を得て、広く公表する。

著作権

第5条 著者は学会が発行する「KEIO SFC JOURNAL」に掲載された論文等の著作権を学会に委託し、学会が論文等の編集著作権および出版権を保有する。

- 2 1に基づき、学会は著者の論文等を原文のままの形において印刷物または電子媒体により再出版または再配布する権利を保有する。なお、電子媒体による再配布とは、湘南藤沢学会ホームページならびに慶應義塾大学の運用する Web サイトやデータベースへも登録し公開すること等を意味する。
- 3 著者は、論文等を他の印刷物または電子媒体に転載する場合は、学会にその旨を事前に通知する。
- 4 著者の論文等を要約して印刷物または電子媒体により再出版または再配布する場合は、原則として学会は著者から事前の同意を得るものとする。

事務局

第6条 「KEIO SFC JOURNAL」のスケジュール管理及び編集委員会開催などの事務は、それに関連する会計も含めて学会事務局が担当する。

■執筆要領

1 原稿の形態

以下、a) b) c) d) e) のいずれかでご執筆ください。

- a) 研究論文 (実証的または理論的研究の成果として、オリジナリティを有するもの)
- b) 実践報告 (学術上の意義が大きい実践的な活動、あるいは新しい試み (実践) についての報告で、他の同様の活動の参考になる価値の高いものである。単なる実践の記述ではなく、評価・検証を行った報告論文であること)
- c) 研究ノート (研究の中間報告または予察的な研究報告)
- d) 書評論文 (いくつかの文献に基づいて過去の経緯、文献間の比較、評価などを総合的に論じ、著者のオリジナルな考えや見方を提示する)
- e) 書評・学会動向 (文献の批判や紹介について、学会動向は、研究展望について解説したもの)

2 原稿の枚数

原稿は、A4 判 (一段組) で作成し、文字数および行数は 34 文字×30 行 (1 頁 1,020 文字) で設定してください。

文字数は原則として、

- ・研究論文: 20,000 字以内 (20 ページ以内)
- ・実践報告: 20,000 字以内 (20 ページ以内)
- ・研究ノート: 12,000 字以内 (12 ページ以内)
- ・書評論文: 9,000 字以内 (9 ページ以内)
- ・書評・学会動向: 5,500 字以内 (6 ページ以内)

を基準とします。

なお、タイトルから参考文献まで全てページ数に含まれます。

3 基本構成

原稿は、A4 判 (一段組) で次の順に作成してください。

- ・タイトル (和文および英文) 本文が英文以外のときはその言語
- ・著者名、所属名、職位 (和文および英文)
- ・アブストラクト (本文の前に 2 言語掲載します)
和文と英文で執筆の場合: 和文 250 字以内と英文 120 語以内の 2 種類を掲載
その他の言語で執筆した場合: 和文 250 字以内と論文使用言語 120 語以内の 2 種類を掲載
- ・キーワード
「キーワード」は後々の検索機能作成などのために、前もって集めておくものです。
本誌に掲載されますので、本文の言語と同じ言語で 5 個以下をご用意ください。
- ・本文
- ・注
- ・参考文献

なお、別添の用紙「KEIO SFC JOURNAL 記載事項記入用紙」にも必要事項をご記入の上、必ず原稿とともに送ってください。

※記載事項用紙→ダウンロードできます。 <http://gakkai.sfc.keio.ac.jp/journal/form.html>

4 原稿の提出方式

電子的な原稿とそのハードコピー、記載事項記入用紙を湘南藤沢学会事務局へご提出ください。

- ・電子版提出先:

E-Mail: gakkai@sfc.keio.ac.jp (湘南藤沢学会事務局) 宛に「原稿 (MS-Word)」と「記載事項記入用紙」を上記アドレスまで送付してください。

- ・ハードコピー提出先:

大学院棟 1F (タウ) 14、湘南藤沢学会事務局までご提出ください。

ハードコピーは 5 部ご提出ください。(サイズは A4 判、うち 4 部は著者名、所属名、職位を伏せた原稿をご用意ください。)

5 レイアウト等

レイアウトは、本要領に従ってください。

(1) マージン等
上下：各 25mm、左右：各 25mm

(2) フォント等
フォントは、原則として、以下の通りとします。

- ・タイトル：和文はゴシック体 17pt / 英文は Times New Roman 14 pt
- ・著者名、所属名、職位：和文は明朝体 12 pt・8 pt / 英文は Times New Roman 8 pt
- ・アブストラクト：和文は明朝体 8 pt / 英文は Times New Roman 8 pt
- ・キーワード：和文は明朝体 8 pt / 英文は Times New Roman 8 pt
- ・本文：和文は明朝体 9 pt / 英文は Century Old 10 pt
- ・見出し：原則としてゴシック体 11 pt・9 pt
- ・注 / 参考文献：和文は明朝体 8 pt / 英文は Times New Roman 8 pt

6 文中の表記

句読点は、日本語は原則として「、」「。」を使用し、数学記号が多い論文および外国語は「,」「.」を使用してください。
新字、新カナを使用してください。また、ヨコ組みですので、句読点、カッコ、コロンの場合はヨコ組の表記になります。

7 用字用語、表記の統一

KEIO SFC JOURNAL では、原則として、用字用語の統一は行いませんので、各自で原稿中の統一をはかって下さい。

1) 日本人以外の人名表記

人名は、以下の方式で表記します。

例) カタカナ (原語表記*) J. ピアジェ (J.Piaget)* 表記できる場合
漢字表記 毛沢東

学術上、論文の展開上重要と思われる人名は、原則としてカタカナと原語での表記となりますが、すでに一般的となっている人名、あるいは論文の展開上特に原語表記をする必要がない人名については、併記の必要はありません。

2) 西暦・和暦、数詞

半角アラビア数字を使用してください。

3) 注の書き方

注番号を付け、本文の最後に通し番号で、記述します。

4) 参考文献の表記方法

①和書、洋書とも以下の順番で掲載いたしますので、必要項目を順番どおりに並べ入稿してください。

【和書：五十音順】

著者名 「書名」(論文の場合は「」) 版数 巻数

出版社名 刊行年 頁数

【洋書：アルファベット順】

著者名、書名(イタリック体、<論文の場合は、論文名はイタリック体にせず“ ”、雑誌名をイタリック体に>)、版数、巻数、(刊行地、出版社名、刊行年)、頁数

②引用文献のページ数の表記方法は、(f) は使用せず、全て (p) で表記してください。

例) 123 ページから 124 ページ引用した場合

○「pp.123-124.」 ※「p.123f」の表記は避けてください。

5) 原稿中の写真・イラスト・表について (イラストソフトは Adobe 社 Illustrator、表作成ソフトは Microsoft Excel がそれぞれ望ましい。)

採用時には以下の形式でデータ・素材をご用意下さい。

①写真 (ラスター形式のグラフィックス)：

デジタルカメラで撮影したものであれば、解像度 350 dpi 以上 (2,000 × 2,000 ピクセル以上) のオリジナル写真データを標準的な画像フォーマット (JPEG) のファイルとして、またアナログ写真で撮影されたものであれば、紙焼きの形でをご用意下さい。

②イラスト (ベクター形式のグラフィックス)：

イラストを作画したオリジナルの C G ソフト (Adobe Illustrator を含む) から直接 EPS 形式に変換したファイルをご用意下さい。

③表組み：

スキャン画像ではなく、作表した際に使用したソフト (Microsoft Excel 等) のファイル形式でご用意下さい。